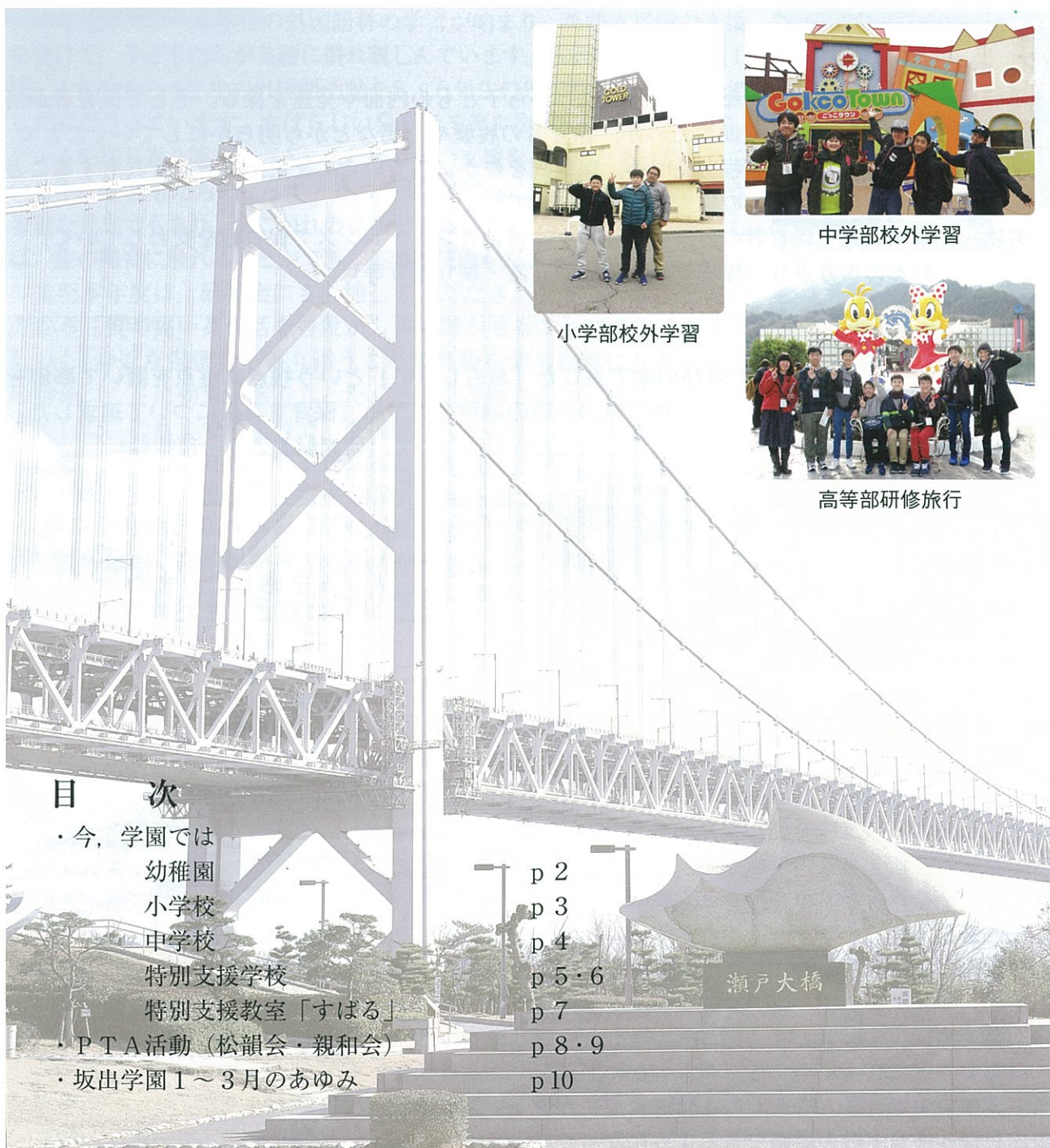


香川大学教育学部

附属坂出学園だより

第62号

2019.3



小学部校外学習



中学部校外学習



高等部研修旅行

目次

- ・今、学園では
 - 幼稚園 p 2
 - 小学校 p 3
 - 中学校 p 4
 - 特別支援学校 p 5・6
 - 特別支援教室「すばる」 p 7
- ・PTA活動（松韻会・親和会） p 8・9
- ・坂出学園1～3月のあゆみ p 10

研究主題

保育する

～子どもとつくる明日～

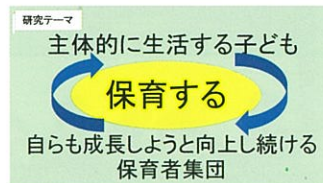
1月25日（金）、第63回附属幼稚園研究発表会を開催しました。県内外から約200名の参会者をお迎えし、盛会裏に終えることができました。



1. 研究の概要

(1) 研究テーマについて

子どもたちが身の周りの人やもの・ことと多様に関わり、それらの関係性の中で自分の思いや考えを生き生きと表出する主体的な姿と、それらの関係性を捉え、援助について考える中で自らも成長し向上し続ける保育者集団の姿が絡み合う生活そのものを『保育する』という動態で捉え、研究した。



(2) 研究の目的・方法

目的) 子どもたちの具体的な言動や、出来事から子どもの内面や発達を探る。そして保育者が何を感じ、願い、どう援助したのか、保育者の履歴や立場などから明らかにしていくことで、保育者自身の変容の過程を見つめ、保育観を豊かにしていく。また、保育観を共有することで、保育者集団としての保育観も豊かにしていく。

- 方法) ○事例研究（保育者の内面もそのまま書きカンファレンスで保育観を交わしていく）
○日々の振り返り（保育日誌、週案の立案・振り返り等）

2. 研究の実際

(1) 保育者一人一人が生活や遊びの中で感じた「おもしろい」という視点に重点を置いて事例を書き起こすことから自分なりの保育観の変容の過程を見つめ『保育する』について追求した。

○実践事例：6月と10月に床を水浸しにしたA児について（研究紀要より一部抜粋）

水っておもしろい！もっと関わりたいという思いの膨らみが表出されているんだ

友達と遊びたいのに上手いかなかった気持ちを出しているんだな

記録を書く前は怒りを感じていたが、振り返るとA児の育ちや思いが見え、友達関係を紡いでいく伸びしろを感じた。また、保育者（私）にもまだまだ伸びしろがある！と捉えることができた。

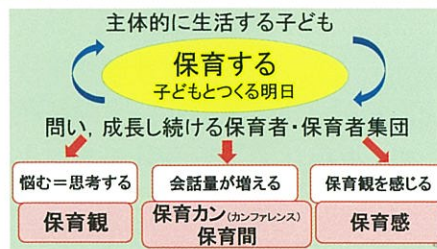
(2) 互いの保育観を絡み合わせる中で保育者集団として大切にしたいことを見出した。

例えば、右図の写真のようにプランターに咲いている花を摘んでいる子どもたちを見たとき、保育者一人一人の見取りや思いをありのまま語り合うことに意味を見出した。つまり、ルールを統一するのではなく、互いの保育観を絡み合わせ中、子どもに育てたい資質・能力を考え、そのための環境や援助について考えていくことの大切さを共通理解できた。



3. まとめ

保育者の中に右図に示す3つの保育かんが深まり、日々の生活や遊びの中で、子どもたちの主体的な姿や保育者の関わりが関係し合う保育実践が展開できるようになった。



～外国語，小学校大好き～

本年度より，英語支援隊さんと一緒に，外国語の授業や活動を子どもたちは，楽しんでいます。質の高い発音，そして一人一人に関わって支援していただけることで，外国語が好きになった子どもがたくさんいます。来年度も引き続き，英語支援隊さんに外国語を好きになる子どもたちを増やしていただけるよう，ご協力をお願いしたいと思います。また，附属幼稚園年長児と2年生と一緒に活動しながら，小学校の楽しさを感じられるような連携を行って参りました。今年も様々な活動を通して，幼稚園と小学校の交流が深まってきています。

■ ◆ ■ 今，学校では… ■ ◆ ■

【英語支援隊さん，発音の支援と寄り添い支援に大活躍】

本年度から5・6年生の外国語科の学習が始まり，英語支援隊の支援を受けて，子どもたちが英語に慣れ親しんでいます。支援隊さんは，週1回，1年生から4年生の外国語活動や5・6年生の外国語科の学習に参加してくださっています。すばらしい発音でモデルを示してくださったり，ゲームや振り返り等で，一人一人に寄り添い支援をしてくださったりしています。子どもたちにとって，そんな支援隊さんは友達の保護者という身近な存在でもあり，あこがれの存在でもあります。おかげで子どもたちは，生の発音に触れることができ，英語の技能が高まってきています。

また本年度は，研究会にも参加していただき，たくさんの参会者の方から「質の高い英会話を普段から多く聞かせることができ素晴らしい」「身近な保護者が寄り添うことで英語を学ぶ以外にも人々との関係づくりに効果がある」とたくさん支援隊さんへの称賛の声が届きました。これまでの学習で，支援隊さんがお手本となる発音をしてくださったり，寄り添ってくださったりする機会がたくさんあったため，子どもたちが自然に英語をインプットすることができ，自分たちも使ってみようという姿が多く見られるようになりました。また，紹介合う場面では紹介する人物，紹介の文章など，様々な話す姿を見ることができ，子どもが使う文章も豊かになってきました。来年度も引き続き活躍をしていただきたいと思います。



【ゲームの中で子どもの支援をする】



【一人一人と英語を使って関わる】

【青組さんと仲よし大作戦】

2年生は，附属幼稚園の年長児（青組さん）と，年間を通して交流を行っています。今年度は，「野菜を一緒に育てよう」（4～6月），「東大浜公園に秋見つけに行こう」（11月），「大根ピックをしよう」（12月），「おもちゃ祭りに青組さんを招待しよう」（1月）などを行いました。

これらの交流は，2年生にとってこれまでの小学校生活から学んだことを生かしたり，相手を思いやる心を育てたりする大切な機会となっています。青組さんにとっては，2年生と様々な活動をする中で，小学生のお兄さんや



【船のおもちゃで遊ぶ】

お姉さんが見せてくれたり，教えてくれたりしたことをきっかけに，自分の遊びを広げる機会となっています。例えば，おもちゃ祭りで小学生が製作したおもちゃで遊んだ際，幼稚園に戻り，同じように真似したものやオリジナルなものを作り，遊ぶ姿が見られました。

このような交流を繰り返し行うことで，小学生とのつながりが強まり，小学校の様子や雰囲気を感じることができ，入学への期待を高められるようにしています。



【野菜のお世話をする】

2019 新CAN スタート!

総合学習CANは、私たちの身のまわりの世界すべてを対象に、興味ある内容を探究し、自らの可能性を拡げていく附属坂出中学校だけの生徒主体の開かれた学習です。CANでは、自由に探究課題が設定できる一方で、その課題設定に悩む生徒が多く見られます。そこで、多様な視点から探究課題を設定できるよう、「素朴な疑問から発想」「身近な問題から発想」「特技や好きなことから発想」という3つの視点、さらに、テーマ別分類表をもとに課題設定に取り組みました。

分類1	100 歴史	200 社会科学	300 自然科学	400 産業・経済
分類2	101 人物・出来事	201 行政 (政策・法律・条例)	301 地学 (鉱物・地質・地形)	401 第1次産業 (農・林・水産)
	102 遺跡 (古墳・城跡・住居跡)	202 風俗習慣 (生活習慣・衣食住)	302 生物 (動物・植物・細菌)	402 第2次産業 (加工・製造・建設)
	103 伝説 (伝承・昔話)	203 教育・福祉	303 化学 (有機・無機化学)	403 第3次産業 (サービス・運輸・通信・観光)
	104 伝統 (信仰・風習)	204 環境問題	304 物理 (力学・光学・電磁気)	404 伝統工芸
分類1	500 芸術	600 言語・文学	700 医療・心理	800 その他
分類2	501 絵画・書道	601 方言	701 医学	
	502 語芸・娯楽	602 文学作品	702 保健・衛生	
	503 音楽・舞踏	603 作家	703 心理学 (児童心理・行動心理・教育心理)	
	504 スポーツ・体育	604 演劇・映画	704 脳科学	

【テーマ別分類表】

シャトル学習で、CANに活かせる探究スキルの習得を!

総合学習シャトルは、総合学習CANの探究活動を充実させるため、探究に必要なスキルを学ぶ場として実施しています。中でも一般講座では、「課題設定」から始まり、「課題追究」、「表現」、「自己評価」という探究活動を進めていくときの1連のサイクルを経験し、この探究サイクルを経験する中で、探究スキルを習得できると考えています。今年度は2019新CANに向けて、1～2月に『実験』、『創造』、『調査』の3つの分野に分かれて、合計9時間実施しました。



『実験』分野 講座名「変数の扉」

変数への着目の仕方や変数制御の方法を習得し、自分たちで実験を計画しました。「落下する紙コプターの滞空時間は何に関係しているのか」を課題とし、その課題を解決する中で、変数を見いだしたり、データを批判的に見たり、データを複数回とることの重要性についてふれました。



『創造』分野 講座名「われら企画・開発部！」

自分たちの考えたコンセプトから試作品をつくり、その企画や試作品についてのプレゼンを行いました。「香川県に訪れた外国人旅行者に対して、どのようなガチャガチャが好まれるだろうか」を課題とし、1つのものをつくるために、どのようなことを考える必要があるのかという着眼力や発想力を鍛えました。



『調査』分野 講座名「徹底調査! 附坂中生の実態とは?」

「附坂中生の実態をどうやって調査するのか」を課題とし、自分たちでアンケート項目を考え、その調査データをもとに、附坂中生の実態を結論づけました。何のために調査するのかという目的をもち、調査するデータの数量だけでなく、その質にも着目して、調査したデータの質を批判的に検証する活動も行いました。



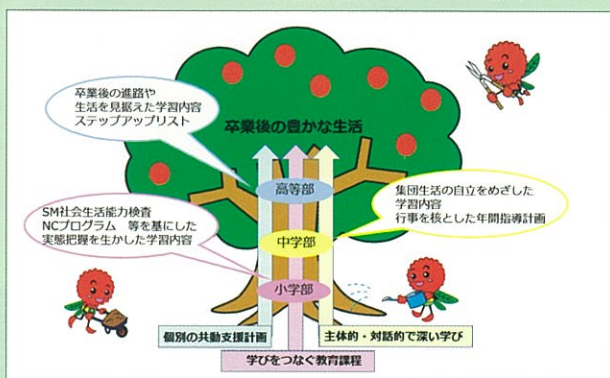
公開授業研究会について

1月23日（水）、公開授業研究会を行いました。各部の授業を公開し、「授業者と語る会」では、授業で使用した教材・支援ツールや教室環境を参観の先生方に実際に見ていただきながら、授業者と直接情報交換を行うことができました。

全体提案

今年度より研究主題を「『育てたい力』の育成をめざすカリキュラム・マネジメント～小・中・高のつながりを意識した学習内容の充実をめざして～」とし、3年研究で取り組んでいくこととなりました。全体提案では、その1年次として、試行錯誤する過程も含め、主題設定に至った経緯や今年度の取組についてまとめ、提案しました。

学習指導要領の改訂の方向性でもある「何ができるようになるか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」の視点で、研究を進めています。研究会でいただいた意見を参考にしながら、本校の子どもたちに「育てたい力」を育むために、それぞれの発達段階に応じた学習内容を検討するとともに、小・中・高の系統性をもたせ、それらの学びが卒業後の豊かな生活へとつながる授業改善、教育課程の検討を行っていきたいと考えています。



小学部

小学部では算数科「足りない数はいくつ？～パーティーの準備をしよう～」の授業を公開しました。足りない数を求める方法を学び、足りない物の数を数え、友達や指導者とやり取りしながら、パーティーのテーブルの準備を行いました。それぞれの児童の理解や学び方に応じて、支援や教材を工夫することで、足りない数が分かって伝え合う姿が見られました。



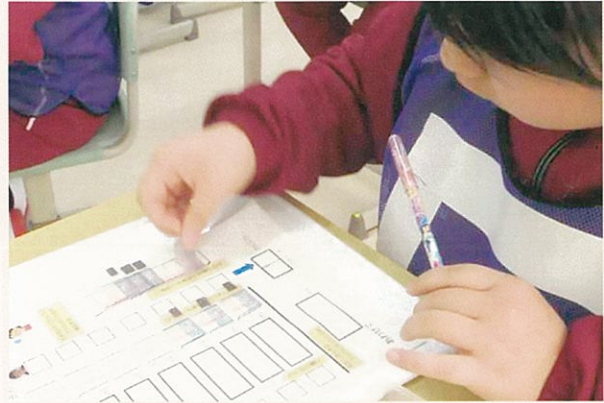
午後からの授業者と語る会では、授業で使った教材を展示したり、児童の変容など説明したりし、参観の先生方から様々な質問をいただきました。授業者と近い距離で具体的な話をすることができ、有意義な時間になりました。



中学部

中学部では数学科「ぴったり量ろう～200mLの計量カップを使って～」の授業を公開しました。かさの測定に関する基本的な技能の習得と、200mLの計量カップで工夫して水の量を量るという活動を通して、いくつかの量り方があることを学習しました。

参観の先生方からは「子どもたちの学び合う姿が素晴らしい」「理解を促す視覚的な支援が大変参考になった」等の声をたくさんいただきました。子どもたちの頑張っているところの姿を見てもらえてよかったです。



高等部

高等部では職業国語科「伝え合おう～4人そろってボキャブラ天国～」の授業を公開しました。授業では、語彙力や表現力、聞く力などコミュニケーションの力を高めるために、冬休みの出来事を自分なりの言語表現で伝え合う活動に取り組みました。活動では、言葉だけでなくイラストやジェスチャー、タブレット端末などの手段を使って意欲的に発表したり、聞き手としてのマナーを意識しながら、発表している友達の話をも、興味をもって聞いたりする姿が見られました。

午後からの授業者と語る会や分科会では、参観の先生方に授業で使用したICT機器や手作り教材を実際に体験してもらったり、日頃の取組について意見交換をしたりすることができ、交流を深めることができました。





特別支援教室「すばる」の個別指導事業

本教室の個別指導は、通級による指導を前提としており、在籍校・園との連携が不可欠です。例えば、個別のSSTは、指導者と1対1の受容的な環境で丁寧にスキルを学べる一方で、学習したスキルが日常生活で発揮されにくいという難点があります。そこで、学習した内容を保護者や担任に伝えて協力を求め、子どもが日常生活の中でスキルを実践し、成功体験を積み上げられるように働きかけます。

今回は、在籍校や保護者と連携しながら行った社会性に関する指導の事例を紹介します。

【コミュニケーションのつまずきへの個別指導の実際】

中学生Aさん

実態

担任・保護者とAさんからの聞き取り等

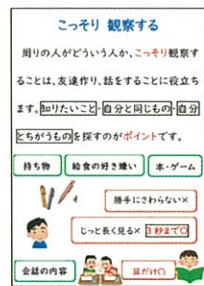
- ・友達とのコミュニケーションが苦手
- ・話しかけられると短く答えることはできる
- ・休み時間は読書をして過ごすことが多い
- ・話したい友達が何人かいるが、どう話しかけてよいか分からない（話しかける台詞・会話の内容・タイミング等）

担任・保護者とAさんからの聞き取り及びWISC-IV検査結果等

- ・周囲の友達の様子をよく観察している
- ・友達と話したいという気持ちがある
- ・自分が知っている言葉の知識や既に経験したことを具体的な言葉を用いて説明することが得意

指導内容①（話しかけるためのスキル）（楽しく話をするためのスキル）

- ・本人の気持ちの確認（今の気持ち・話しかける不安・願い等）
- ・話題見つけのためのこっそり観察（話したい友達の持ち物や興味・関心等）
- ・相手探し（時間がありそう・興味・関心が似ている・答えてくれそう）
- ・タイミング（相手が一人である時・教室移動の前後・機嫌等）
- ・初めの台詞（あいさつ・名前を言う・共通の話題で疑問形にする等）
- ・話している間の言動（相づち・視線・表情・声の大きさ・距離感等）



指導内容②（すばるでの実践練習）

- ・実際の相手・状況を具体的に設定
- ・指導者が相手となりロールプレイ
- ・iPadで撮影したロールプレイの振り返り
- ・実践のための目標設定・振り返り



指導内容③（学校での実践）

- ・記録
- ・実践

実行した場所・相手	日付	感想
2	6/15	もやっと いいね ア>> (ア>>)
3	6/16	ア>> (ア>>)

結果

- ・初めは、「話しかけるなんてできない」と言っていたが、ロールプレイの振り返りで、できている自分の姿を確認し、少しずつ自信をもち始めた。さらに、担任や保護者の後押しで、指導後半には自分から友達に話しかけることを実践し、記録（専用ノート）・報告した。
- ・最終日の感想：「友達に話しかけることはまだ苦手だけれど、話すと楽しかった。」

担任や保護者の協力のおかげで、Aさんは、友達に話しかけることができた自信と、会話の楽しさを感じることができました。

幼稚園より

餅つき大会

12月18日（火）に、坂出ライオンズクラブの方々にご協力いただき、2年に一度の「餅つき大会」が行われました。子どもたちは、前日から餅つき大会があることを知って、餅つきごっこを楽しむ姿があるほど、楽しみな気持ちを膨らませていました。

当日は、リズム室いっぱい「ぺったん！ぺったん！」の掛け声が響く中、大きな杵をライオンズクラブの方に支えてもらいながら一人一人が餅つきを体験しました。つきたてのお餅を自分たちで丸め、ほかほかで長くのびるお餅を笑顔で頬ばっていました。季節を感じる貴重な体験となりました。



小学校より

坂出市PTAソフトボール大会連覇達成！

12月9日（日）坂出市PTAソフトボール大会が林田町総社グラウンドにて開催されました。小学校からは2チームが出場し、Aチームが接戦に次ぐ接戦を制し見事優勝！大会連覇を果たしました。

数回行った練習から試合当日にわたり、参加保護者同士和気あいあいと楽しい時間を過ごすことができました。来年もたくさんの保護者の皆様のご参加をお待ちしております！！



キャリア教育、今年もやります！

毎年、6年生を対象に、保護者の方々から「キャリア教育（卒業おめでとう授業）」と題しまして、お仕事の内容から人生の指針に至るまで、大変貴重な授業をしていただいています。

今年は獣医師、精神科医師、自衛隊の方々にご講演をお願いしています。毎年、いろいろな職業の保護者の方から話を聞くことで、自分の将来について考える良いきっかけになっています。子どもたちは、熱く語ってくださる人生の先輩からのお言葉をいただき、これからの自分について考える機会となっています。



中学校より.....

保護者による進路指導

「保護者による進路指導」を12月8日（土）のオープンスクールで行いました。

教師、歯科医師、管理栄養士、消防士、建築設計士、公務員、会社経営者など様々な職業から9名の皆様に講師をお願いし、1・2年生の生徒にお話ししていただきました。

色々な職業の話を知ることができ、生徒たちが自身の将来について考える貴重な機会となりました。今後もキャリア教育の一環として継続していきたいと思えます。



天体観測会

OYGの取り組みの一つとして、12月14日（金）に中学校の屋上を開放して天体観測会を行いました。当日は双子座流星群が見頃で、小・中学校、特別支援学校の児童・生徒やその保護者、総勢約70名の皆様に参加いただきました。

集合時は曇り空で、観測できるか不安でしたが、屋上に上がる頃には雲も無くなり、流れ星を発見する度、あちこちから歓声が上がりました。また天体ドームや組み立て式の望遠鏡を使用して、月や火星の観測も行い、充実した観測会になりました。



特別支援学校より.....

平成30年度

香川県特別支援学校知的障害教育校5校PTA・親の会連絡協議会



1月24日（木）、香川県下の知的障害教育関係の特別支援学校5校のPTA・親の会で組織される連絡協議会が開催されました。

本年度は、本校が当番校ということで65名の保護者と先生方が本校に集まり、全体会と分科会を行いました。

午前の全体会では、アンケート調査で要望が高かった「成年後見制度について」の講演を坂出市成年後見センターから3名の講師をお招きして開催しました。要望が高かったテーマだったこと



<第1分科会>

もあり、事前に多数の質問も寄せられ、制度の内容や申請などについて事例を交えて詳しく知ることができました。

午後からは「卒業後の暮らしを考える」と「子どもの理解・保健指導について」の2つのテーマに分かれ分科会を開催しました。

第1分科会には高松西年金事務所と午前引き続き坂出市成年後見センターから、第2分科会には本校の恵羅校長と養護教諭の富川先生をアドバイザーとしてお迎えして、制限時間まで熱心に討議しました。



<全体会>



<第2分科会>

3年生激励会

1月8日(火)、3年生激励会が行われました。受験を迎える3年生の合格を祈願して、1・2年生一人一人の応援メッセージを記した合格絵馬と紅白のシクラメンを3年生に贈りました。合格絵馬には「寒い時期で体調を崩しやすいですが、目標に向けて頑張ってください。私たちも応援しています。」等、先輩方が無事突破できるようにとの願いが込められていました。この合格絵馬は1・2年生全員が寄せ書きをして作ったもので、これまでお世話になったことへの感謝の気持ちがつまっています。

冷え込みが厳しい体育館で行われましたが、今年も附属中学生の強い絆が感じられる心温まる会となりました。



中学校

MOA美術館全国児童作品展で
文部科学大臣賞をいただきました

夏の思い出を描いた作品を、MOA美術館へ毎年、出品していました。このMOAに出品する子どもたちは、自分の経験したことや見たもの、感じたものを自由にそして、ダイナミックに描いたものばかりでした。そのため、これらの絵を病院で過ごす時間がたくさんある子どもたちに少しでも心を元気にしてくれたことを願い、届けていました。毎年、作品を出品したことや心の元気をプレゼントしてきたことが認められ、このような素晴らしい賞を受けることができました。誰かの心を豊かにしていることを知った子どもたちは、また来年も作品を届けることだと思います。



小学校

特別支援学校

児童生徒役員選挙を実施しました

児童生徒役員選挙を、今年は1月30日(水)に行いました。選挙告示を受け、児童生徒会の仕事をしたいという意欲のある10名の児童生徒が立候補しました。立候補者は学級の仲間と一緒に選挙ポスターを作ったり、小学部、中学部、高等部の各教室を回って自己アピールをする選挙運動をしたりしました。選挙権年齢が満18歳以上となり、高等部の生徒の中には、投票権をもつ生徒もいます。学校で投票を経験することで将来の投票がスムーズにできるよう、市の選挙管理委員会より本物の投票箱と記載台を借りて、実際の選挙と同じ状況で投票し、選挙について学ぶことができました。児童生徒たちは、立候補者の演説を聞き誰に投票するのかを考えて、大切な一票を投票しました。



幼稚園

坂出高校2年生と交流しました

坂出高校教育創造コースの2年生と、7月、10月、2月に交流しました。初めは、思い思いの遊びに向かっている幼稚園の子どもたちとの関わりに、どうすればいいか悩んでいる坂校生の姿がありましたが、園児に「一緒にサッカーしよう」「私たちのレストランに来て」と誘われ、遊んでみる中で、徐々に楽しめるようになっていました。将来、幼児教育の面白さを感じ、地元香川県で教師になろうと志す学生が生まれることを期待しています。



5歳児青組が「小学校体験」をしました

2月上旬、一年西組の教室を借りて青組の子どもたちが小学校体験をしました。広い教室で自分の席につくと、もうすぐ小学生になるわくわく感が湧いてきたようでした。1年生や2年生、5年生との交流をしたり、おいしい給食をいただいたり、昼休みに運動場で遊んだりして、「小学校って面白いな」と安心や期待感をもったようです。また「修了まで、幼稚園でいろんなことに挑戦しよう」と意欲も溢れた3日間でした。



編集後記

ここ何か月かの間で「平成最後の」という言葉が、よく聞かれるようになりました。平成の30年間で、世の中は大きく変化し、予測困難な時代を受け身で生きるのではなく、主体的に社会に関わっていくという子どもたちの姿が求められています。新しい時代を、いきいきと、豊かに生きていけるよう、これからも子どもたちの成長に携わっていききたいと思います。

この3月で卒園、卒業される皆様、おめでとうございます。附属坂出学園で身に付けた力を、新しい場所でしっかり生かして活躍されることをお祈りいたします。

保護者をはじめ関係の皆様方、今年度も温かいご支援、ご協力をいただきありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。

発行年月日：2019年3月8日

発行事務局：香川大学教育学部附属坂出小学校内

桑原 育子 (附属幼稚園)

樽本 導和 山路 晃代 (附属坂出小学校)

石川 恭広 大西 光宏 (附属坂出中学校)

大西 祥弘 妹尾 恭子 (附属特別支援学校)